

8-4-15 海岸・海洋専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

海洋分野の新たな市場開拓を主な目的として沿岸域の総合的な管理等に関わる情報収集、情報交換等の委員会を9回(4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、1月)開催した。

(2) 海岸・海洋オンライン勉強会の開催

海岸・海洋分野において検討すべき課題や開発が必要な技術等について、タイムリーに頻度高く議論する機会を設けることを目的にオンライン勉強会を開催した。

【実施日】2025年9月10日(水) 15:30～17:00

【講演】「砕波下の混相乱流 -北斎画の物理的解釈-」北海道大学大学院 工学系研究院 土木工学部門 渡部 靖憲 教授

【参加者数】約200名

(3) 現地視察・意見交換会の開催

令和6年能登半島地震では、石川県珠洲市において津波による甚大な被害が生じた。後の海岸保全のあり方について議論することを目的として、国の権限代行により復旧が進む宝立正院地区海岸の現地視察を行うとともに、建設コンサルタント業務の拡大と役割分担について意見交換を行った。

【実施日】2025年10月3日(金)

【現地視察】石川県珠洲市宝立正院地区海岸など

【参加者】

- ・高知工科大学システム工学群 佐藤 慎司 教授
- ・金沢工業大学 工学部 有田 守 准教授
- ・国土交通省 北陸地方整備局 能登復興事務所 川崎 建設監督官
- ・海岸・海洋専門委員会委員 13名
- ・公募参加者 3名

(4) 海岸・海洋セミナー(第17回)の開催

まちづくりを含めた防護対策や環境・利用への配慮等がより一層重要となる中、能登の復興プロセスから得られる教訓・取組を参考に、これからの海岸保全のあり方について議論するこ

とを目的としてセミナーを実施した。

a) テーマ:これまでの海岸保全とこれからの海岸保全について考える ～能登の復興プロセスから得られる教訓・取組を参考に～

b) 日時:2025年12月15日(月) 13:00～17:00

c) 場所:八千代エンジニアリング(株)
会議室(対面・Web)

d) 参加者数:約250名

e) 講演概要

【講演1】「能登半島地震の被害、復旧復興に関する話題提供(現地視察の概要)」

海岸・海洋専門委員会 有村 盾一 委員

【講演2】「能登半島地震津波調査の概要と施設の検証・避難行動の事例について」

金沢工業大学 工学部 有田 守 准教授

【講演3】「日本海側における津波対策」

高知工科大学 システム工学群 佐藤 慎司 教授

【全体討議】

上記の講演者と国土技術政策総合研究所 河川研究部海岸研究室 柴田 亮氏 室長による全体討議を実施し、まちづくりと連携した海岸保全のあり方について講師の方から多くの意見を頂いた。

(5) RCCM 自主学習教材の改訂について

RCCM 自主学習教材に関し、「河川、砂防及び海岸・海洋」の講義資料について一部改訂した。

2. 次年度の活動について

これまでの活動内容を踏まえ、以下の活動を継続的に行い、技術情報の共有を図る予定である。

- ・沿岸域の総合的な管理に関する議論
- ・海岸・海洋オンライン勉強会の開催
- ・海岸の現地視察と意見交換会の開催
- ・令和8年度海岸・海洋セミナーの開催

(海岸・海洋専門委員会委員長 口石 孝幸)